

<2017年科学者集会 1st サーキュラー 5月23日>

原水爆禁止 2017年世界大会・科学者集会 in 高知 —30周年記念—
& 高知の戦争遺跡を巡るフィールドワーク
核兵器禁止条約の締結と核被災者の救済を目指して

■集 会：2017年7月30日（日）10:30～17:00

高新文化ホール（高知新聞放送会館東館7階）

（JR高知駅からバス又は路面電車：高知城前下車徒歩1分）

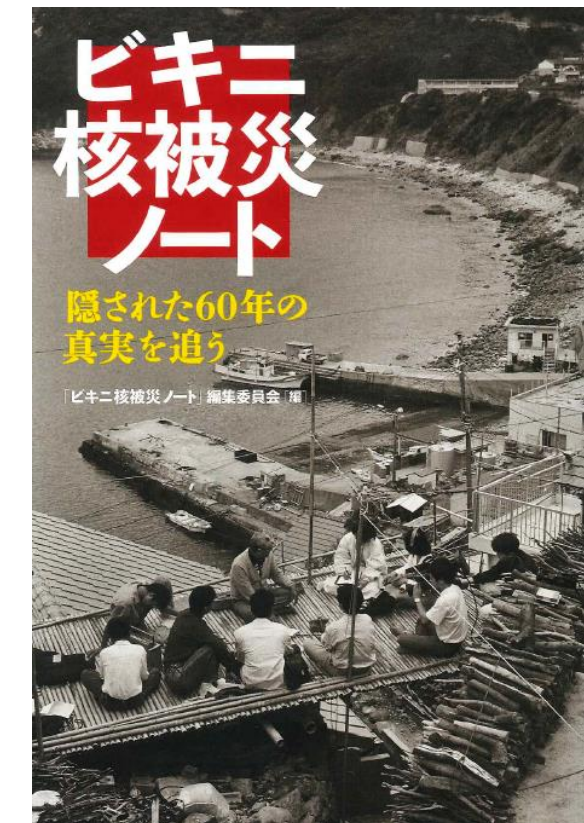
■高知の戦争遺跡を巡るフィールドワーク：7月31日（月）9:00～12:30

平和資料館・草の家（路面電車：グランド通停留所 徒歩2分）

■集会よびかけ

2017年の「原水爆禁止 2017年世界大会・科学者集会(以下、科学者集会)」が「核兵器禁止条約の締結と核被災者の救済を目指して」をテーマに、高知で開催されることになりました。科学者集会はさまざまな専門家と市民・学生のみなさんが、核兵器の廃絶、軍学共同になぜ反対するか、日本人の「第3の被ばく」といわれるビキニ事件の解明と核被災者の救済、活断層である中央構造線の近くに建設され、昨年再稼働した愛媛県の伊方原発の危険性、アメリカが行った核実験によって太平洋・マーシャル諸島の人々が被った被ばくの実態と被曝者救済の問題などについて、忌憚なく議論することを目的にしています。

「(2015年の)第9回NPT再検討会議において最終文書採択を妨害したアメリカが、オバマ(前)大統領の広島訪問を契機として、核兵器廃絶に積極的に寄与すること」(2016科学者集会よびかけ)が期待されました。しかし、昨年アメリカの大統領選挙で勝利し新大統領となったトランプの政権は核戦力の拡大に意欲を示し、日本に対しては核の傘による防衛を確約する一方で、また



もや、国連会議を妨害しはじめ、「核兵器禁止条約」交渉への日本の参加に嫌悪感を示し、その圧力に屈した日本は、最終的にアメリカの要請に従う行動にでて、交渉会議を途中退席してしまいました。しかし、アメリカのように核兵器禁止条約交渉に参加しない国は少数派であり、本年3月27日に始まった国連会議の条約制定交渉には約115カ国という圧倒的多数の国々が参加し、同条約制定に賛同する意見には惜みない拍手が送られていたと、報道されています。

私達も被曝者の提起した「核兵器廃絶国際署名にご協力を」の署名キャンペーンに協力し私達の「署名が核兵器廃絶を求める何億という世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信」(署名キャンペーン)出来るように条約交渉参加国との連帯を強めたいと思います。

『ビキニ核被災ノート 隠された60年の真実を追う』
『ビキニ被災者ノート』編集委員会編、2017年
講演者の一人、山下正寿氏らによる著作

原水爆禁止 2017 年世界大会・科学者集会 in 高知 —30 周年記念—
～核兵器禁止条約の締結と核被災者の救済を目指して～
2017 年 7 月 30 日（日） 10:30～17:00

◆プログラム◆

- 「開会の言葉」岩田 裕（高知大学名誉教授，日本科学者会議高知支部事務局長）
- 「核兵器禁止条約に向けて」（仮）内藤雅義
（弁護士，日本反核法律家協会理事，核兵器廃絶 NGO 連絡会共同世話人
ノーモアヒバクシャ訴訟東京弁護団長）
- 「軍学共同反対と科学者の責務」（仮）井原 聡
（東北大学名誉教授，日本科学者会議事務局長）
- 「ビキニ事件と科学者の役割」山下正寿
（元高知県立高校教諭，太平洋核被災センター事務局長）
- 「ビキニ国賠訴訟の現状と意義」梶原守光（弁護士，梶原・みなみ法律事務所）
- 「活断層と伊方原発の危険性」（仮）岡村 眞
（高知大学名誉教授，高知大学防災推進センター客員教授）
- 「総合討論」司会：岡田健一郎（高知大学准教授）・森明香（高知大学助教）



◆集会会場◆

高知文化ホール

（高知新聞放送会館東館7階）

（JR 高知駅からバス又は路面電車

：高知城前下車徒歩 1 分）

◆集会資料代◆

1,000 円

（学生・高知市民は 500 円）

◆集会後は懇親会を予定しています◆

<居食倶楽部 旬家>

場所：高知市大川筋 1 丁目 3-39

Tel：088-824-0282

会費：5,000 円程度（予定）

高知の郷土料理でお待ちしています

原水爆禁止 2017 年世界大会・科学者集会 in 高知

高知の戦争遺跡を巡るフィールドワーク

2017 年 7 月 31 日 9:00~12:30

今回はフィールドワークとして「戦争遺跡巡り」を企画しました。長年にわたって高知の戦争遺跡を調査されてきた平和資料館・草の家学芸員：藤原義一さんによる案内で、南国市の高知龍馬空港周辺の掩体壕(えんたいごう)、コンクリート製の防衛陣地(トーチカ)、特殊潜航艇爆破碑等を巡ることによって、高知にも「戦争があった」、そのために戦争に駆り出されたり、空襲などで痛めつけられた人々(命を落とした人)に思いをはせる時間は本集会の意義を更に深めることと確信しております。

◆7月31日 高知の戦争遺跡を巡るフィールドワーク◆

9:00 平和資料館・草の家

草の家による高知戦跡レクチャー

10:00 草の家出発、バスで戦跡へ

12:30 高知空港で下車解散

13:00 高知駅で下車解散

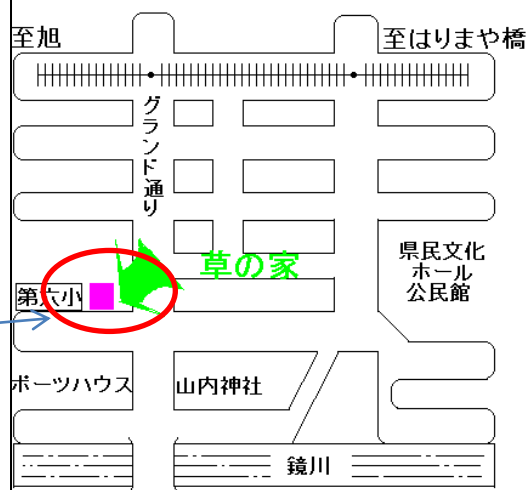
◆フィールドワーク集合会場◆

平和資料館・草の家

(路面電車 グランド通停留所 下車徒歩約2分)

◆フィールドワーク資料代・バス代◆

実費を頂きます



■参加申込・問合せ先

原水爆禁止 2017 年世界大会・科学者集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル9階 日本科学者会議 気付

科学者集会 in 高知 実行委員会

岩田 裕 (実行委員長)・小淵 港・角田鉄人・服部敏彦・細居俊明・岡田健一郎・加藤誠之・玉置雄次郎・公文富士夫・佐藤克春

2017年 原水爆禁止世界大会・科学者集会 in 高知 参加申込書

(可能な範囲でご記入ください)

※当日参加もお待ちしております※

ご氏名(ふりがな)	勤務先・所属団体・肩書き, 専門分野など
ご連絡先 住所：〒 TEL: e-mail :	
ご参加・ご予約される項目を○で囲んでください。 1. 7月30日 10:30～ 集会の参加 2. 7月30日 18:00～ 懇親会の参加 (会場近くの高知郷土料理店です。5千円程度) 3. 7月31日 9:00～ 高知の戦争遺跡を巡るフィールドワーク	
会場から発言を希望される場合, そのテーマなどをご記入ください。 	
備考	

上記内容を FAX か E-mail でお知らせください。

送付先：原水爆禁止 2017 年 世界大会・科学者集会 in 高知 実行委員会

FAX : 03-3813-2363 E-mail : mail@jsa.gr.jp

(〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階 日本科学者会議 気付)